

安全データシート

作成 2018/05/24
改訂

1. 化学物質等および会社情報

製品名 : SUPER洗剤革命
会社名 : 株式会社ティーシーサポート
住所 : 東京都新宿区西早稲田 1-22-2 アス西早稲田東ウイング 105
電話番号 : 03-6457-6280
FAX 番号 : 03-6457-6281

2. 危険有害性の要約

【GHS 分類】

物理化学的危険性:	酸化性固体	区分 3
健康に対する有害性:		
急性毒性	経口	区分外
	経皮	区分外
	吸入(ガス)	分類対象外
	吸入(蒸気)	分類対象外
	吸入(粉じん)	分類できない
	吸入(ミスト)	分類対象外
皮膚腐食/刺激性		区分 3
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性		区分 1
呼吸器感作性		分類できない
皮膚感作性		分類できない
生殖細胞変異原性		分類できない
発がん性		分類できない
生殖毒性		分類できない
特定標的臓器毒性(単回暴露)		区分 3(気道性刺激、麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復暴露)		分類できない
吸引性呼吸器有害性		分類できない
環境に対する有害性:		
水生環境有害性(急性)		区分 3
水生環境有害性(慢性)		分類できない

【GHS ラベル要素】

絵表示: なし



注意喚起語: 危険
 危険有害性情報: 飲み込むと有害 (H302)
 軽度の皮膚刺激 (H316)
 重篤な眼の損傷 (H318)
 呼吸器への刺激のおそれ(気道刺激性) (H335)
 眠気やめまいのおそれ(麻酔作用) (H336)
 水生生物に有害 (H402)

注意書き:

安全対策

- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
- ・熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)
- ・衣類および可燃物から遠ざけること。(P220)
- ・保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)
- ・粉塵を吸入しない、吸入を避けること。(P260+P261)
- ・換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)
- ・環境への放出を避けること。(P273)
- ・取扱後は手や顔をよく洗うこと。(P264)
- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。(P270)

応急措置

- ・火災の場合: 消火に適切な消火剤を使用すること。(P370+P378)
- ・吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師に連絡すること。(P304+P340+P312)
- ・気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。(P314)
- ・皮膚または髪に付着した場合: 皮膚を流水、シャワーで洗うこと。(P303+P353)
- ・皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。(P332+P313)
- ・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。(P363)
- ・眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
 その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
- ・眼の刺激が続く場合: 医師の診断、手当てを受けること。(P337+P313)
- ・飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。(P301+P330+P331)

保管

- ・換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。(P403+P235)
- ・容器を密閉しておくこと。(P233)

廃棄

- ・内容物、容器を都道府県または市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

3. 組成および成分情報

化学物質・混合物の区分: 混合物

化学名または一般名: データなし

成分	濃度範囲 (wt%)	分子式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化管法*1	安衛法*2	
炭酸塩	非公開	非公開	該当なし	該当なし	非公開

炭酸カリウム	非公開	非公開	該当なし	該当なし	非公開
重炭酸塩	非公開	非公開	該当なし	該当なし	非公開
ヒドロキシ酸塩	非公開	非公開	該当なし	該当なし	非公開
過炭酸塩	非公開	非公開	該当なし	該当なし	非公開
非イオン界面活性剤	5.0-8.0	非公開	1-407	該当なし	非公開
キレート剤	非公開	非公開	該当なし	該当なし	非公開
酵素	非公開	非公開	該当なし	該当なし	非公開

*1 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

*2 労働安全衛生法

4. 応急措置

- 吸入した場合： 被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時など必要に応じて、医師に連絡または医師の診断、手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合： 水と石鹸で洗うこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
皮膚刺激が生じた時など必要に応じて、医師に連絡または医師の診断、手当てを受けること。
- 眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
必要に応じて、医師に連絡または医師の診断、手当てを受けること。
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合： 口をすすぐこと。
気分が悪い時など必要に応じて、医師に連絡または医師の診断、手当てを受けること。
- 予想される急性症状および遅発性症状： データなし
- 最も重要な兆候および症状： データなし
- 応急措置をする者の保護： 救助者は状況に応じて適切な保護具を着用すること。
- 医師に対する特別注意事項： データなし

5. 火災時の措置

- 消火剤： 粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、水噴霧、乾燥砂等
- 使ってはならない消火剤： データなし
- 火災時の特有危険有害性： データなし
- 特有の消火方法： 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
容器が熱に晒されているときは、移さない。
安全に対処できるならば着火源を除去すること。
火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。

消火を行う者の保護: 消火活動は、可能な限り風上から行う。
消火は風上から行い、粉塵の吸入を避ける。
適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置:

風上に留まり、風下の人を避難させる。

作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項: 河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込めおよび浄化の方法および機材:

少量の場合は、密閉できる空容器に回収する。

大量の場合は、盛り土で囲って流出を止めた後、安全な場所に導いて回収する。

二次災害の防止策: 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。
関係者以外の立ち入りを禁止する。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い:

技術的対策

眼、皮膚への接触や吸入を避けるための保護具を着用する。

局所排気・全体換気

換気ができる、または換気の良い場所で使用する。

安全取扱注意事項

すべての安全注意を読み理解するまで使用しない。

換気の良い場所でのみ使用する。

容器を密閉しておく。

他の製品と同時に使用しない。

炎や火気の近くで使用しない。

火の中に入れてない。

環境への放出を避ける。

接触回避

熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざける。禁煙。

衣類および可燃物から遠ざける。

ハロゲン類、酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触を避ける。

衛生対策

取扱後は手や顔をよく洗う。

保管:

安全な保管条件

熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけて保管する。

衣類および可燃物から遠ざけて保管する。

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置く。容器を密閉しておく。

ハロゲン類、酸類、アルカリ類、酸化性物質と同一場所での保管を避ける。

安全な容器包装材料

データなし

8. 暴露防止および保護措置

管理濃度: 設定されていない

許容濃度:	設定されていない
設備対策:	取扱い作業場には、局所排気装置、洗顔、手洗いの設備を設ける。
保護具:	
呼吸器の保護具	粉塵吸入を防ぐ保護マスク、防毒マスク(有機ガス用)など必要に応じて適切な呼吸器保護具を着用する。
手の保護具	必要に応じて適切な保護手袋を着用する。
眼の保護具	ゴーグル型などの適切な眼の保護眼鏡を着用する。
皮膚および身体の保護具	必要に応じて個人用の保護面、保護衣を着用する。
衛生対策:	取扱後は手や顔をよく洗う。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。

9. 物理的および化学的性質

物理的状态:	
形状	粉体
色	白色
臭い	わずかな特異臭
pH	9.5 - 11.5 (1%水溶液)
融点、凝固点:	データなし
沸点、初留点および沸騰範囲:	データなし
引火点:	データなし
自然発火温度:	データなし
燃焼性(固体、ガス):	データなし
爆発範囲:	データなし
蒸気圧:	データなし
蒸気密度:	データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1):	データなし
比重(密度):	データなし
溶解度:	データなし (水溶性)
オクタノール/水分配係数:	データなし
分解温度:	データなし
粘度:	データなし

10. 安定性および反応性

安定性:	通常の条件では安定
危険有害反応可能性:	データなし
避けるべき条件:	高温、加熱、高湿 混触危険物質との接触
混触危険物質:	ハロゲン類、酸類、アルカリ類、酸化性物質
危険有害な分解生成物:	データなし

11. 有害性情報

急性毒性:	経口	区分外	構成成分からの計算値
		マウス LD50	2,000mg/kg 以上 (1%水溶液)
	経皮	区分外	構成成分からの計算値
	吸入(ガス)	対象外	
	吸入(蒸気)	対象外	
	吸入(粉じん)	データなし	
	吸入(ミスト)	対象外	
皮膚刺激/腐食性:		区分 3	
		ウサギ	無刺激性 (1%水溶液)
眼損傷性/眼刺激性:		区分 1	
		ウサギ	無刺激性 (1%水溶液)
呼吸器感作性:		データなし	
皮膚感作性:		データなし	
生殖細胞変異原性:		データなし	
発がん性:		データなし	
生殖毒性:		データなし	
特定標的臓器毒性(単回暴露):		区分 3	
特定標的臓器毒性(反復暴露):		データなし	
吸引性呼吸器有害性:		データなし	

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性):	区分 3
水生環境有害性(慢性):	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:	都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託する。 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染容器および包装:	都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託する。 分別できるものはリサイクルする。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去しておく。

14. 輸送上の注意

国際規制:	
国連分類	5.1
国連番号	3378
容器等級	III
国内規制:	
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。

海上輸送	海上輸送：船舶安全法等に定められている運送方法に従う。
航空輸送	航空法等に定められている運送方法に従う。
輸送の特定の安全対策	輸送前に容器の破損、漏れのないことを確かめ、転落、落下、損傷がないよう食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 重量物を上積みしないこと。 その他関係法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

消防法:	危険物第4類第4石油類(水溶性) 非イオン界面活性剤
労働安全衛生法:	該当しない
化学物質管理促進法(PRTR法):	非イオン界面活性剤
毒物劇物取締法:	該当しない
船舶安全法:	該当しない
航空法:	該当しない
その他の適用法令(外為法)	輸出貿易管理令別表1の16項に該当する

16. その他の情報

SDS改訂履歴:

なし

略語の意味:

LD50 Lethal Dose 50

半数致死量(1回の投与で1群の実験動物の50%を死亡させると予想される投与量)

参考資料:

GHS分類データベース(経産省)

GHSに基づく化学物質等の分類方法(JIS Z7252:2014)

GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法(JIS Z7253:2012)

原料購入メーカー(SDS情報)

経済産業省 化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS,改訂5版:2013,日本語仮訳)

安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、これを取扱う事業者提供されるものです。取扱う事業者は、これを参考として自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。

本製品安全データシートの記載内容は、現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

以上